



洛西ニュータウンのこれからの市民とともに考え、作り上げるワークショップ“RAKUSAI Pub.Lab. (洛西パブラボ)”の2025年度6回目が2月21日に開催されました。

### 開催概要

日時 2026年2月21日(土) 10:00~12:30  
会場 西京区役所洛西支所 2階 大会議室  
参加者 12名

### 当日の流れ

- 1 はじめに
- 2 これまでのふりかえり
- 3 次の一歩に向けて
- 4 チーム横断ワーク
- 5 共有タイム
- 6 おわりに

### これまでのふりかえり

最初に、今年度の取組についてふりかえりました。今年度はパブラボでの取組を「日常に馴染ませる」ことを目標に、単発のイベントではなくどう続けていけるか、どう広がっていくかがポイントでした。また、ワークショップと並行して実施した誰でも参加できる勉強会「Chat and drinks」についても共有がありました。

### RAKUSAI Pub. Lab. について

本ワークショップでは、昨年度に引き続き様々な年代や知識を持つ人が集まり、対話やインプットを通して学び合いながら洛西の理想の未来を考えます。暮らしを豊かに、地域を良くするアイデアを話し合い、いくつかのチームに分かれて具体的な取組を考え、公共スペースを使ってお試しました。

### スケジュール

- 1 6/21(土) 10:00-12:30  
洛西Pub.Lab.について
- 2 7/26(土) 10:00-12:30  
洛西でやってみたいことを考えよう
- 3 8/9(土) 10:00-12:30  
企画をつくろう
- 4 9/27(土) 10:00-12:30  
お試し実施にむけた準備をしよう
- お試し実施  
5 10月中旬  
まちなかでのお試し実施
- 6 11/8(土) 10:00-12:30  
お試しを振り返り、これからの考えよう
- 2026.2/21(土) 10:00-12:30  
来年度の取組を考えよう

## 次の動きに向けて

前回のワークショップでの意見を踏まえ、今後の進め方についての提案と、子どもチームの新たな動きについて共有がありました。

### RAKUSAI Pub.Lab.

- ・ 公共空間を使って、「洛西の〇〇かもしれない（こうなればいいな）」という未来を描いていく
- ・ これまでの実践を踏まえながらもカタチを変えていく
- ・ 取組を考える場としつつ、学びと対話の場をもつ
- ・ 月に1～2回程度の定例会（全体会）を開催
- ・ 定例会と活動をセットで実施することも検討する
- ・ 新しい人が参加しやすい仕掛け、仕組みをつくる
- ・ 学びの場を定期的を持つ
- ・ パーゴラ広場をもっと試してみる
- ・ 取組を知る SNS を立ち上げる

### 子どもチーム

- ・ 10月のお試し実施で参加者の子どもたちがアイデアを出した「コミックラボ」は、自習したり、ボードゲームしたり、漫画が読めたり、子どもたちが自分たちでつくる居場所
- ・ 実現に向けて子どもたちと自主会を開催
- ・ 第6回目のワークショップ後に洛西支所1階でお試し実施
- ・ 3月28日のさくら祭でも実施予定



次年度の活動イメージ



## 次の一歩に向けて

1回目のワークショップで作成した今年度やってみたいことシートを見返しながら、これまでの気づきや今後どんなことをまちなかでしたいか書き出しました。



1回目のシート



6回目のシート

## チーム横断ワーク

今回はこれまでのチームを超えて意見交換をする時間をとりました。最初に今年度のチームでシートの内容を踏まえて今後に向けて話し合い、その後別のテーブルに移動して話し合いました。



今年度のチームでシートを使って話し合い



別のテーブルで話し合い



最後は各テーブルから共有

## 各取組の可能性と今後やりたいこと

各チームから出た意見を紹介します。現在のチームのテーマから離れた新しいアイデアはとりまとめて紹介します。

### ストリートキッチンチーム

- ・簡易ピザ窯づくりやバジルの育成など、食べる前の準備で様々なコミュニケーションを広げる
- ・オープンな場でゆるやかに定期的にストリートキッチンを開催したい
- ・3月末に第2弾の実施をするかチーム内で検討

### 子どもチーム

- ・コミックラボを実現させたい
- ・まずは月1でも定例化し、中高生の参加を増やす
- ・ボードゲームスペースや、ストリートキッチンとのコラボも検討

### 新しいアイデア

- ・まちなか文化祭  
(または万博のような雑多なもの。  
異分野が交わるもの)
- ・ストリートピアノ
- ・学生同士のつながりを生む「パブラボユース」プログラムの実施
- ・毎回参加できなくても協力できる  
仕組みづくり
- ・パブラボの情報発信としての  
SNS やホームページ作成
- ・情報発信について学ぶ
- ・竹についての勉強会
- ・公園などで子どもたちがどのように  
遊んでいるかを調べる
- ・サブセンターの活用

### 今後について

来年度に向けた活動の方向性として「循環」が一つのキーワードになるかもしれませんが。食や竹といった地域資源を「作る・使う・育てる」といった関わり方を通して、地域の中で循環する仕組みをつくっていくこともできそうですし、運営メンバーに限られる可能性がある中で、地域の団体や住民にも広く参加してもらえるような仕組みづくりも重要になりそうです。さらに、まちの中で文化的な活動や遊びの場が減っている今だからこそ、新しい文化や活動を生み出していくことも重要ではないかという意見もありましたね。来年度もみなさんの「〇〇な洛西にしたい」を大事にしながら取り組んでいきましょう！



studio-L  
厚毛さん